

# 平成26年度 新潟市秋葉区文化会館 事業報告書

No.	区分	企画	会場	内容	入場者数	時期
1	鑑賞	高嶋ちさ子&加羽沢美濃 カジュアルクラシックス	ホール	開館1周年事業の一環として、高嶋ちさ子さん加羽沢美濃さんというメディアでも露出の高い二人が出演。期待通り楽しいトークと観客からのリクエストに対応した即興の演奏に、会場は大いに盛り上がった。	475人	平成26年7月21日(月・祝)
2	鑑賞	『もけら もけら』ワークショップvol.1 「作曲してみよう!」	ホール	『もけら もけら』の絵本を題材にさまざまな表現にチャレンジし、最終的にライブ・パフォーマンスをするというワークショップ。ナビゲーターの彌勲さんの指導の下、自分たちの名前を一字一文字を音にしてみることから始まり、言葉を音にしていく流れを掴んだところで『もけら もけら』の絵本をグループで4~5ページずつ受け持ち、曲を作った。	参加者42人 一般観覧者 50人	平成27年2月15日(日)
3	鑑賞	秋葉寄席 三遊亭円楽独演会 (ワークショップ付)	ホール 練習室1	円楽さんの弟子の楽大さんによるワークショップは、クイズ形式で落語の言葉の意味を教えてください、出囃子の太鼓の意味聞いて実際に太鼓をたたいてみたり、手拭い・扇子の使用目的や使い方を教えていただきました。独演会は、母心さんの漫才に大いに笑い、楽大さん円楽さんの話芸に魅了された。「お腹を抱えて笑いました」「楽しかった。勉強になった」「今後も定期的に開催してほしい」等、落語ファンの方が多く、次の開催を待ち望まれる声が多かった。	513人	平成27年3月29日(日)
4	鑑賞	[幼児向け音楽] 5才になったらホールで音楽会vol.2	ホール	一生に一度は秋葉区文化会館に足を運び、幼少時に上質な音楽体験の場を提供することを目的に、毎年新潟市内在住の5才になる子どもを対象に希望者を募り、子どもと保護者を招待する企画。今年度は、Eテレ「フックブッコロー」に出演されている谷本賢一郎さんを迎えファミリーコンサートを開催。コンサートは谷本さんとピアノ伴奏者の2名で、よく聞く曲や新潟の名産を盛り込んだ替え歌などをステージの上ばかりではなく、客席でも歌い、子どもばかりではなく保護者の方も大変楽しんだ。アンケートでも「子どもと一緒に楽しめて良かった」「子どもと参加できるイベントをもっと行ってほしい」等好評だった。	414人	平成26年10月26日(日)
5	鑑賞	沼澤茂美講演会 「映像で体感する驚異の天体ショー」& 天体観望会	ホール 駐車場	新潟出身の天文のイラスト・写真の仕事を中心に活躍されている沼澤茂美氏を講師に迎え、皆既日食・流星雨・オーロラなどの現象を最新の映像機器を使用し、映像や写真と共に紹介した。また公演終了後は天体観望会を開催し、大型の望遠鏡から三日月・木星・火星・土星・月を観望した。初の屋外での事業だったが、天候にも恵まれ大勢のお客様に星空を観望して頂くことができた。	1,066人	平成26年5月31日(土)
6	鑑賞	デューク更家のびんしゃんウォーキング 体験&講演会	ホール 屋外芝生	デュークさんの巧妙な話術と確かな理論による実技により、参加者全員が一体となり、ホール全体に笑い声が広がる楽しくて充実した公演となった。天候が良いこともあり、外に出て芝生の上でホールで聞いた内容を実際に体験した。参加者のみなさんとても真剣に楽しく体験されていた。「大変楽しかった」「楽しく体験できて良かった」「今日の体験を取り入れていきたい」と参加者からは好評だった。	152人	平成26年11月8日(土)
7	鑑賞	花火を知って、花火を楽しむための”花 火鑑賞講座”	ホール	花火鑑賞士の石井孝子氏を講師に迎え、珠玉の映像と解説で芸術作品としての花火を紹介した。公演終了後は、質問コーナーを設け、熱心に質問をし、「花火に対する見方が変わった」「他の地域の花火大会もみたくなった」等花火ファンが増えた。	137人	平成26年6月14日(土)
8	鑑賞	開館1周年記念 2台のスタインウェイと打楽器のコンサ ート	ホール	開館1周年記念事業として、オープニングに引続き地元秋葉区出身のN響打楽器奏者石川達也氏を迎え、会館初となる2台のスタインウェイをステージに置き、打楽器との共演を披露。「打楽器の本格的な演奏はあまりないので良かった」「スタインウェイが2台ステージに並ぶ演奏はもう観られないかもしれない」等の声が多かった。	344人	平成26年9月21日(日)
9	普及	[フタツク育成] レコーディング入門講座	スタジオ 録音調整室	参加者は全員男性で20代、30代各1名、60代4名という構成。6名の参加者が当館のスタジオ利用で「レコーディング機器が使えるようになりたい」「ミキサーを使いこなしたい」「自分たちのバンドの録音ができるようになりたい」等の理由で参加。講座は、テキスト本を基に基本的な音響機器の操作に始まり、DAWを用いたマルチトラックレコーディングの基礎を体験。当館スタジオでの録音を目指す。5回でスタジオ設備全てを把握してもらう事は、個人差も出てくるため難しかった。参加者の感想も「難しかった」「もっと時間が欲しい」というものが多くあった。	23人	平成26年4月25日 平成26年5月23日 平成26年6月27日 平成26年7月25日 平成26年8月29日
10	普及	[市民プロデュース] ①クラシック ワンコインコンサート ②クリスマスクラシック ワンコイン コンサート ③ヴァレンタインワンコインコンサート ④ミュージカルワンコインコンサート	ホール	1回目は新潟市ゆかりのピアニストの関敦子(在ドイツ)氏によるピアノソロで、本格的なピアノ演奏に多くの観客が酔いふくれた。販売面では評論家による記事が掲載され、完売となり広域的な来場者を迎えた。2回目はトランペット・チューバ・ピアノの構成でクリスマスクラシックを開催し、金管楽器で聴衆を魅了した。3回目はピアノとギターのコラボレーションで過去最高の入場者数を記録した。4回目は劇団四季の元メンバーによるミュージカルナンバーのコンサートに未来の市民アーティストでもある地元の子ども達もステージに上がった。新潟日報への寄稿記事が功を奏し、関氏のコンサートを上回る広域的なイベントとなった。特筆すべきは4回とも完売に至ったことで、ワンコインコンサートのファン層拡大により一層取り組みたい。	計1,838人	平成26年8月31日(土) 平成26年12月20日(土) 平成27年2月11日(水・祝) 平成27年3月21日(土)
11	普及	[アウトリーチ①] 学校鑑賞教室	各小学校	新津第三小学校は合唱指導に佐藤匠講師を派遣。「児童たちは二部合唱は初めての経験。音を合わせるが大変です」との学校側から話があり、小学生にわかりやすいようにパートごとに区切って指導。声の伸ばし方などの発声方法、歌詞に対しての気持ちの込め方などを伝授。対象者が小学生だったため、途中屈伸などの簡単なストレッチを入れたりして飽きないような工夫した。指導前後ではやはり歌の成果も変わっており、先生からは「1回ではなく何回か回数があるといい」と要望があった。小倉東小学校は落語の三流亭楽々を講師に。小学生でもわかりやすい話しを組み入れた授業。落語の成り立ち、小話、5分ほどの短めな落語(演目:平林)、15分ほどの少し長めな落語(演目:寿限無)、最後は南京玉すだれを披露。「寿限無」は、3年生の国語の教科書に出ており、児童の皆さんは口を揃えて長い名前を楽しく一緒に語った。楽々講師の軽快な語り口と話し面白さで、児童も先生も大声で笑うなど楽しい授業となった。講師も先生も落語がどこまで小学生に理解してもらえるか心配していたが、子ども達があんなに大声で笑うとは思っていなかったもので、とてもいい授業になったと好評だった。	172人	平成26年10月23日(木) 平成26年12月15日(月)
12	普及	[アウトリーチ②] 学校鑑賞教室	各中学校	小須戸中学校は、3年生に対して佐藤匠講師による合唱指導をいただいた。課題曲に適した基礎的な発声方法を生徒さん達に伝え、指導開始直後と終了後では、声の伸びもよくなり驚くほど上達していた。佐藤さんのわかりやすい指導と、生徒さん達の素直な気持ちが一致したのではと感じられた。先生からは「1回ではなく何回か回数があるといい」と要望があった。金津中学校は1年生に、加藤礼子講師によるヴァイオリン演奏の授業を実施。「ヴァイオリンの構造や音の鳴る仕組み」「4つのメロディの中から好きな曲を選び、どんなシチュエーションが思い浮かんだかを書いて発表してもらいミニワークショップ」、最後は「生徒全員でピアノを囲み、曲のリズム合わせて強弱をつけて手拍子」と盛り沢山な内容。生徒の感想は「音がいきいきして楽しかった」など、加藤講師の奏でるヴァイオリンの美しい音色は生徒さん達の心に響いた。	154人	平成26年10月22日(水) 平成27年2月6日(金)
13	普及	[アドバイザリー委員会企画] 秋葉の舞台で遊ぼう! 公演vol.1 あきはの舞台であそぼう! あきはの民話 とわらべうた	ホール	アドバイザリー委員初の企画で、本番まで5カ月という中、内容を固め参加者も市民から募り、練習を行ってきた。内容も秋葉区に昔から伝わる民話を素材にした舞台、郷土芸能2団体の出演、未来を担う子ども達が参加。随所にわらべうたを盛り込んだ。出演者も集まりが悪い中、個別に直接アドバイザリー委員が指導に出かけたり、練習の回数を増やすなど苦労したが、観客の感想からは地元に住んでいながら初めて見た郷土芸能や、民話、子ども達の姿に「いろいろなジャンルがあって楽しめた」「大人から子どもまで楽しめる企画で良かった」「これからも続けてほしい」等、大好評だった。	312人	平成26年11月2日(日)
14	創造	[創作プロジェクト] レジデンス合唱団「フォリエ」チャリティ コンサート	ホール	月3回のうち1回は彌勲忠史氏を指導者に迎え練習を積み重ねてきた。その集大成が定期コンサートとして実現。今回は初舞台となるため、男女とも衣装を用意した。また、コンサートはチャリティとして日本赤十字社に寄付(117,886円)した。課題曲8曲を丁寧に1曲ずつ仕上げ本番に臨んだ。レジデンスとは、指導者であるアーティストが会館に通って指導するという形式で、日本はもちろんだが、非常に珍しい形態。レジデンスであるため普段の中で、本番同様のステージでの練習も行えることから初舞台を踏む団員にとっては、いわばホームグラウンドで成果を発揮できるというメリットがあり、団員の上達振りは指導者の賜物であるが、本番での実力発揮はレジデンス形式ならではの。当日は指導者でカウンターテナーの彌勲忠史氏のソロも披露されるなど聴衆を魅了した。団員もこのほか感動したとのコメントが多かった。	365人 (団員46名)	平成27年1月25日(日)
15	交流	[地域の魅力発見事業] 街中探検隊	村松公園 ホール 諸室	1回目は桜の名所である村松公園を会場に、桜などの草花や風景、人物などを撮影した。多くの方々が集まりスポーツやイベント等を行っていたため多くの写真を撮ることができ、参加者の方からも好評だった。2回目は当館の自主イベントのリハーサルを撮影した。普段撮ることのできない動きのあるリハーサル風景と暗い舞台裏に、講師のアドバイスを受けながら撮影を行った。3回目は2回目に撮影した写真の好評を行った。撮影した写真は全て、額装しロビーにて展示を行った。	29人	平成26年4月19日(土) 平成26年10月4日(土) 平成26年10月19日(日)
16	交流	[青少年育成事業] 子ども記者育成講座	練習室1 ホール	1回目に新聞とは何か、記事の書き方を学び、2回目に実際に館主催のアドバイザリー委員会企画「舞台で遊ぼう! あきはの民話とわらべうた」の記者発表取材した。小学3年生には、内容が難しく、ついて来られるか心配だったが、メモをたくさん取って、記者発表では何を質問するか事前に用意するなど意欲的であった。参加者全員、記者発表終了後の「ぶらさがり」の取材が気に入って、意欲的に質問をしていた。記事の内容も上手くまとめられていた。反省点として今回は記事を書く時間が少なかつたので、来年度は、記事を書く時間をもっと多く取り、新聞を作る作業を十分取りたい。	11人	平成26年8月4日(月) 平成26年8月18日(月)
17	交流	[花作りプロジェクト] 市民ガーデンを作ろう!	館外	春は近所の保育園の園児とボランティアと一緒にプランターに植栽を行い、夏は朝顔のグリーンガーデンに挑戦し、秋は寒い冬に耐え春に咲くチューリップ等を植えた。	58人	通年
18	交流	[文化活動者交流] アーティスト交流会	練習室1	初顔合わせの方もおり、ジャンルが異なる分野の話には興味深々で話を聞いた。「アウトリーチ事業など館から出て、生の音楽を伝える事は良いが、その先は会館のホールへ足を運んでいただけるようにしていきたい」「若いアーティストを育成するためには、職業として生活できるという事が重要で、そのために館が拠点となって、お金が回る仕組みを作って活動していくという発想が必要」「舞台に立つ側も観客を楽しませるようにしていかなければならないし、観る側も観る目を育てていかないといいけない。」等多数の意見交換がなされ、時間が足りないくらいだった。最後にアーティスト4名の方が演奏して交流会を終えた。	11人	平成27年2月26日(木)
19	交流	展示	ロビー	会館の特徴ともいえる緑の「棚」を利用し、工芸品、作品を展示する。開館以来、小須戸在住の長井利夫さん提供の「小須戸織」にまつわる資料、展示物、織機は通年展示とさせていただいている。小須戸中学校の職場体験で訪れた生徒による展示替えも実施した。ロビーで展示スペースを無料で使用できることが広まっており、地元の写真展を中心に作品の展示や行政からの展示も増えてきている。	—	通年